

## 1 目的

昨年度に引き続き、国内・海外における新型コロナウイルス感染症の感染防止の適切な対策を講じることで、生徒及び教職員の感染拡大を防ぐ。

## 2 具体的な対策

基本的な感染症対策のポイントとしては、三密（密閉空間・多くの密集・近距離での会話）と感染リスクの高まる5つの場面（飲酒を伴う懇親会、大人数・長時間における飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり）を避ける。これらのポイントに即して、日々の対策を行う。

### （1）健康観察

- ア 登校前に自宅で検温を行い、学校についたら個人ごとの健康観察表に記録する。
- イ 健康観察表に、その日の体調を記入する。気になる症状は必ず記入させる。
- ウ 登校前の検温を忘れた場合は、教室に入らず、職員室に寄せ、職員室前で検温を行う。
- エ 健康観察は朝、担任が回収及び確認を行い、養護教諭に提出をする。その日のうちに集配ボックスに返却し、翌日登校後に各自で記入させる。
- オ 教職員については、学校到着後、すぐに体温・体調を用紙に記入をして回収ケースに入れる。家族の状況や気になる内容については、必ず記入する。

### （2）基本的な感染経路の防止

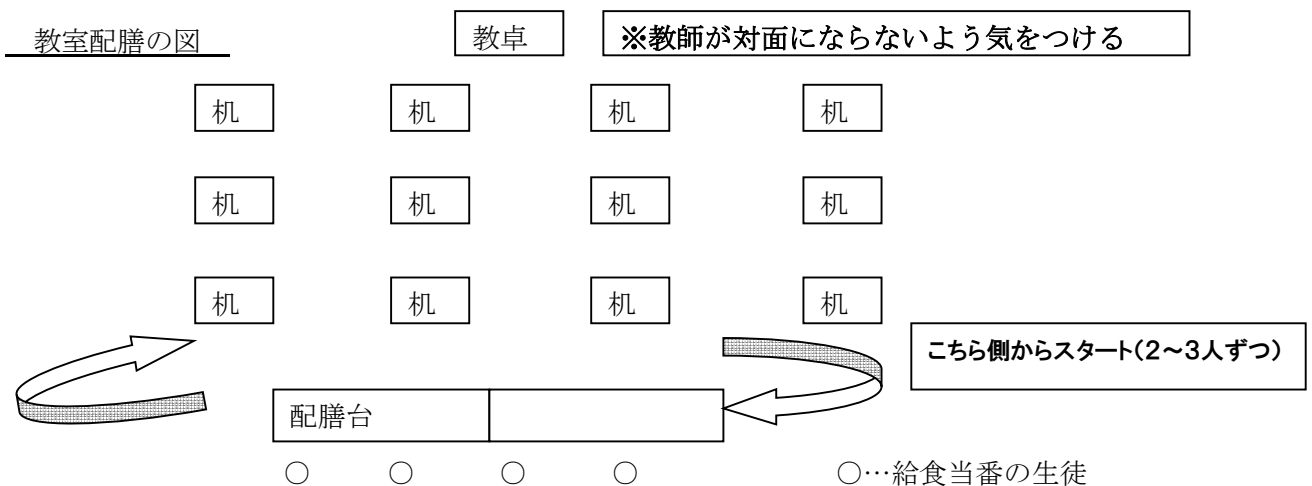
- ア 手洗いを徹底する。（手洗い場すべてにポンプタイプの石けんを設置する）
- イ ハンカチやタオルを持ってくるよう促す。（必ず自分のものを使用させる）
- ウ 登下校、学校生活においてマスクの着用をする。  
※ただし、体育・部活動中はマスクを外して行っても良い。体育への移動や授業前後の説明の時は、マスクを着用する。  
※登下校中で、歩きや自転車通学の生徒で人との距離を一定にとれる場合は、マスクを外してもよい。  
しかし、バス通学生徒は、必ずマスクを着用してバスに乗る。
- エ 各教室に、消毒液を設置する。（登校後、給食前、また本人がしたい時に消毒をする）また、職員玄関や生徒昇降口、図書室、ランチルームにも消毒液を設置する。
- オ 手を触れる場所（部屋の扉、机、いす、スイッチ、蛇口など）は、生徒の下校後、スクールサポーターを中心に消毒をする。（次亜塩素系消毒液やアルコールにて）

### （3）学習・学級活動

- ア 近距離での会話や発声を防ぐ授業形態をとる。（机を合わせて話し合いをする場合、一定の距離をとる）
- イ 教室内は、常に換気を行う。（対角線上に窓をあけておく）
- ウ 冷房・暖房機器を使用しない期間は、教室の出入り口の扉は、基本あけておく（さわらない）
- エ 全校集会をする際は、1時間とする。

#### (4) 学校給食等

- ア 給食は教室で食べる。教室においても、席を向かい合わせにせず、前を向いた状態とする。
- イ 以前からではあるが、給食当番の生徒は、下痢・発熱・腹痛・吐き気などの症状がある場合、給食配膳はさせない。(給食前に確認して早退も検討する)
- ウ 全員、石けんで丁寧に手洗いを行い、アルコール消毒も行う。
- エ 給食当番の配膳が終わるまで、待っている生徒はマスクをはずさず、座って待つ。
- オ 4校時の授業後、黒板は消さない。
- カ 窓を開ける際は、必ず網戸の方を開ける。



- キ 歯みがきは、学年ごとに場所を決めて生徒の時間差をつけて行う(一度の使用は4人まで)歯みがきは、積極的な声かけはせず、したい生徒のみの実施とする。

(手洗い場の使用: 1階…1年 2階…2年 3階…3年 の手洗い場)

- ク フッ化物洗口については、5月から再開をする。

実施時間を水曜日の朝読書の時間とする。

保健委員が中心となり、準備、片付けを行う。時間差をつけて、実施し手洗い場が混まないようにする。

コップは紙コップとして、1回使い捨てとする。

フッ化物洗口を吐き出す際は、歯みがきで使用している手洗い場を使用する。

#### (5) 部活動

- ア 部活動を行う前は、必ず生徒の体調面の確認を行う。風邪症状などがみられる際は、部活動を見合わせ、基本帰宅をさせる。
- イ ミーティングを行う際は、近づきすぎをさけ、一定の距離をとって行う。また、短時間とする。
- ウ 生徒は部活動中、マスクを外しても良いが、部活前後のミーティングでは全員マスクを着用させる。指導者は、部活動中に指示をすることが多いので、極力マスクを着用する。
- エ 集合の声かけやランニングの声かけも省く。
- オ 体育館部活動中も、換気に心がける。
- カ 緊急事態宣言が出ていたり、市町での感染状況がレベル3の場合は、対外試合を控える。そのような状況の場合、日々の部活動でも接触の極力ない練習メニューにする。  
対外試合に行く場合は、必ず養護教諭に知らせ、アルコール・石けん等の消毒セットを持って行く。

キ 部活動は半日とし、昼食をはさまない。

(6) 1日の生活の中での手洗い・消毒等のポイント

自宅	<ul style="list-style-type: none"><li>・体温を測り健康状態の確認をする。</li><li>・ハンカチ、ティッシュ、マスク、マスクを入れる袋の準備をする。</li></ul>
登校	<ul style="list-style-type: none"><li>・バス通学生徒はマスクを着用して登校する。</li><li>・登校後に、手洗いか手指消毒をする。</li></ul>
授業	<ul style="list-style-type: none"><li>・3密（密閉・密集・密接）を避けた授業や休み時間を過ごす。</li><li>・体育の後や理科の実験の後など、用具を共有した場合、手洗いをする。</li></ul>
給食・昼休み	<ul style="list-style-type: none"><li>・給食の前、後に手洗いをする。（給食後は手指消毒でも可）</li><li>・図書室を利用する際は手指消毒を前後で行う。</li><li>・会話するときは、マスクを着用する。</li></ul>
授業	
掃除	<ul style="list-style-type: none"><li>・エアコンを切り、窓を開けて掃除をする。</li><li>・マスクをした上で行う。</li><li>・掃除の後に、石けんで手洗いをする。</li></ul>
部活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・部活動終了後、手洗いを行う。（なるべくうがいも行う）</li><li>・部活動後、校門前やバス待ち（バスの中）ではマスクを着用する。</li></ul>
自宅	<ul style="list-style-type: none"><li>・自宅に帰ったら、手洗い（うがい）を行う。</li><li>・着替えをする。</li></ul>

(7) その他

ア 規則正しい生活習慣の確立を継続させる。（免疫力向上）

イ 不要不急の外出を控え、極力人混みを避ける。

ウ 風邪症状（発熱、咳、頭痛、倦怠感、味覚臭気の異常）がある場合は、速やかに連絡を行い、早退をさせる。（発熱については、基本37.5℃以上とするが、37℃でも早退としてもよい）

※該当生徒が早退した後、机やいすなどを消毒する。生徒には、事前に、予防のためにそのようなことをすることを伝えておく。

エ 朝、登校前の段階で、体調がすぐれない場合は、登校を控える。

オ 教育活動の内容については、そのときの感染状況や安全性を確認して、その都度協議して実施を行う。

カ 職員玄関に、来校者記録用紙を置き、出入の時刻を記入し、手指消毒の上、職員室で対応をする。

(8) 生徒(教職員)の感染者が発生、または濃厚接触者と認定された場合の具体的対応

(京丹波町マニュアルに準ずる 令和3年1月18日改訂)

①新型コロナウイルス感染症対策本部の設置

新型コロナウイルス感染症における緊急時の対応や確認事項については、新型コロナウイルス感染症対策本部で検討をする。

役割:感染者等発生時の対応の総括、指示、保健所や教育委員会との連絡、情報発信

メンバー:校長、教頭、教務主任、養護教諭(状況によって学年主任)

②生徒本人、教職員の感染が疑われる者が発生した場合に関して

- ・生徒本人、教職員は、現在の症状や感染が疑われる場合は、ただちに学校に連絡を入れる。(PCR検査を受ける前)(※発熱・嗅覚、味覚異常等がある場合は早急に)
- ・感染が疑われる者の発生を、管理職から教育委員会に報告する。
- ・PCR検査の結果が出るまで、生徒は出席停止、教職員は出勤しないとする。
- ・現在の症状(発症日と考えられる日、行動範囲)を把握しておく。
- ・陽性と判明した場合→保健所の指示を受けて生徒は出席停止、教職員は出勤しないとする。  
陰性と判明した場合→本人の症状回復後で、学校医と相談した上、登校を認める。

(3)生徒及び教職員の家族(関係者含む)が濃厚接触者に認定された場合に関して

- ・保護者、関係者は速やかに学校に連絡を入れる。  
※連絡を受けた職員は、感染症電話連絡記録表に必要事項を記入する。
- ・基本、保健所の指示に従う。濃厚接触者のPCR検査の結果が出るまで、生徒は出席停止とする。教職員は、出勤しないとする。
- ・学校は、当該生徒の行動範囲(時間割、出席状況、接触時間、最終接触日の前から2日間)を把握しておく。
- ・濃厚接触者の陽性が判明した場合→当該生徒は、濃厚接触者と認定される可能性が極めて高い。保健所や学校医と相談した上で出席停止とする。  
濃厚接触者が陰性と判明した場合→当該生徒は、通常通り登校する。